

人間関係を考える

選 択

開講年次：1 年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：挨拶から始まる対人関係と常識的なコミュニケーションが望まれているにもかかわらず、なかなかうまく表現できない人が多いといわれている。同じ職場に長く勤務できないのは、仕事がいやだからではなく、人間関係のトラブルからが多い。我々の日常生活は、家庭、学校、職場などを中心として営まれている。そのいずれにも、必ず他者とかかわらなければならない。そのためにまず、相手を知り、相手を認めることがいかに大切かを知り、コミュニケーションを上手にとるため、そして楽しい生き方をするための人間関係をつくることを目的とする。

■**到達目標**：①お客様、上司に対する礼儀作法の基本ができる。
②言葉づかい・電話応対に対する即戦力が身につく。
③対人関係が良くなる。

■**担当教員**：

椿 武愛子

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 対人関係がスムーズになる礼儀とマナー
- 第 2 回 上司・お客様との接し方（上座・下座席次他）
- 第 3 回 クレームにならないための処理法
- 第 4 回 言葉遣いと日本語表現、接客用語
- 第 5 回 恥をかかないための電話応対
- 第 6 回 上手なスピーチと自己紹介の仕方
- 第 7 回 自己紹介実践I
- 第 8 回 自己紹介実践II
- 第 9 回 個性心理学（動物占い）（自分を知って相手を知る）
- 第10回 手紙の書き方とビジネス文書の書き方
- 第11回 エコグラム交流分析とプラスのストローク（自分の現在のモチベーションを知る）
- 第12回 冠婚葬祭のマナー、のし袋の見分け方他
- 第13回 お年寄り、体の不自由な方、他の接し方
- 第14回 好きなセールスマン、嫌いなセールスマン、受付のポイント、ビジネスマンとしての心得
- 第15回 総まとめと面接のマナー

■**教科書**：テキスト教材（2,000円）を購入していただきます。また、必要に応じてプリントを配布します。

■**参考文献**：追って指示します。

■**成績評価基準と方法**：出席状況、レポート、自己紹介、試験から総合的に評価を行う。

マナーのロールプレイングを取り入れて、それも評価に入れる。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②③		
定期試験	◎	○	テキストを良く理解しているか。	50
小テスト・授業内レポート	○	○	問題の正解度	20
授業態度	○	○		
発表	◎	○	自己紹介	30
課題・作品				
出席			2/3以上の出席	
その他			遅刻3回は欠席扱い	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：単位を取るだけでなく、実践し、仕事や社会人として即戦力のある人材になることを望む。